2021.8.1

県民の皆さんへ大切なお知らせ

新型コロナウイルスワクチン接種について

現在、一般住民向けのワクチン接種が本格化しています。
ワクチンの接種にあたって知っていただきたいことを、わかりやすくお伝えします。

今回接種するワクチンとは

■ 発症を予防する効果があるワクチンです

✓ 現在、承認されているワクチンのうち、ファイザー社のワクチンは約95%、武田/モデルナ社のワクチンは約94%の発症予防効果があると報告されています。

■ 2回の接種が必要です

✓ 通常、ファイザー社のワクチンは3週間、武田/モデルナ社のワクチンは4週間あけて**2回接種**します。筋肉内に注射します。接種費用は**無料**です。

■ これまで安全性に重大な懸念は認められていません

✓ 副反応が生じる場合がありますが、重篤な副反応は少ないとされています。

接種対象の方には市町村からお知らせがあります

1 接種券が届く
対象の方へ、接種券や会場の案内が届きます

2 予約する
電話などで接種の予約をおこないます

3 接種する
接種券を持参し、予約した会場で接種します

▶ **接種までの手続きの詳しいことは、お住まいの市町村におたずねください**

接種の前にやっていただきたいこと

■ 自分の健康状態を把握しましょう

✓ 熱はないか、具合の悪いところはないかなど、ご自身の体調をしっかり把握しておきましょう。支援が必要な方には、ご家族の方の目配り・気配りをお願いします。

ココに注目！

■ 接種に不安がある方は

✓ 治療中の病気がある方、過去に薬・注射や食品などで重いアレルギー症状を起こしたことがある方など接種に不安のある方は**前もってかかりつけ医に相談**してください。

接種後の「副反応」についても知っておきましょう

■ 副反応とは

- ✓ ワクチンを接種した後に、**注射した部分の痛み**や、**だるさ**、**頭痛**、**発熱**、**筋肉・関節の痛み**などがみられることがあります。これらを「副反応」といいます。
- ✓ こうした症状は、起きたとしても接種後**数日以内に回復することがほとんど**です。
- ✓ 副反応は、きちんと免疫ができている反応のあらわれで、からだが病原体とたたかう準備をしている証拠ともいえます。

■ 「アナフィラキシー」とは

- ✓ 薬や食物が体に入ってから短時間で起こることのある、急性の重いアレルギー反応です。
  ※ 詳しくはQ&Aをご覧ください。

よくあるご質問から

Q アナフィラキシーとは何ですか？ どう備えればいいのですか？

A まれに接種後短時間で起きることのあるアレルギー反応で、じんま疹などの**皮膚症状**や、腹痛などの**消化器症状**、または息苦しさなどの**呼吸器症状**が急に起こります（血圧低下や意識レベルの低下を伴う場合を「アナフィラキシーショック」と呼びます）。

米国では約１千万回中50例（**20万回あたり１例**）が報告されており、74%が接種後15分以内に、90%が30分以内に発生しています。

接種直後の**15～30分は経過観察が必要**です。接種会場や医療機関では、アナフィラキシーが起こってもすぐ対応できるように、医薬品などの準備をしています。

Q アレルギーのある人は接種してもいいのですか？

A 重いアレルギー反応を起こしたことがある方や、ワクチンや注射でアレルギー反応を起こしたことのある方は、**かかりつけ医に相談**してください。

それ以外の食品・経口医薬品、ペット、花粉などのアレルギーの場合は、接種することができます。

そのほか、接種への疑問や不安がある方は･･･

★山梨県新型コロナワクチン専門相談ダイヤル **055-223-8878**

■ 土日祝日を含む毎日　９：００から２４：００まで(０：００～９：００は音声案内)

■ 専門的な知識を有する看護師、薬剤師などが相談に対応します。

★聴覚に障害がある方は、ＦＡＸ(０５５－２２３－１６３９)を御利用ください。

■ ２４時間受け付けておりますが、回答に数日要する場合があります。

★外国語での御相談は、電話(０９２－６８７－５１６４)でお受けしています。

■ 英語、中国語、ポルトガル語、ベトナム語等２０言語に対応しています。

監修　山梨県ワクチン接種検討会